

令和2年度事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

令和元年度の成果を踏まえ、各施設の特徴を活かし、幅広い年齢層を対象にした舞台芸術公演や、市民参加型事業を実施すると同時に、管理運営について経費節減や施設利用の活性化と市民サービスの向上に努める。また、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進し、市民の国際交流についての理解と関心を高め、諸外国との相互理解と友好親善を深め、さらに世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指す。

令和2年度は、財団の事業企画運営力向上を目指して迎えた日本を代表する作曲家・池辺晋一郎芸術監督と音楽プロデューサーと共に、姫路市が推進する「音楽のまち・ひめじ」事業のさらなる活性化を目指し、多彩な新規事業を展開していく。目玉公演としては、「小曾根真 featuring No Name Horses」や「サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル」を開催。姫路ミュージック・ストリートは公演名、内容を一新するほか、「姫路市ジュニアオーケストラ」を立ち上げるといった新しい事業に挑戦するとともに、事業に沿った内容のイベントやワークショップなどを積極的に行うことで、舞台と街中どちらでも文化に触れ合える機会を提供する。また、新たに配置した演劇アドバイザーの助言のもと、2年度から出演者を公募する中高生による演劇公演や、舞台技術講習会の実施により、演劇に携わる若者の育成を図る。ほかにもさまざまな事業を展開することにより、文化芸術・国際交流の振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深めながら、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与する。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

公益目的事業1（略＝〔公1〕）音楽・演劇等の公演事業

公益目的事業2（略＝〔公2〕）文化振興のための育成普及事業

公益目的事業3（略＝〔公3〕）博物館の企画展示事業

公益目的事業4（略＝〔公4〕）文化施設の貸与及び管理運営事業

公益目的事業5（略＝〔公5〕）国際交流事業

収益事業1（略＝〔収1〕）管理運営施設等の物品販売事業

収益事業2（略＝〔収2〕）文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業

その他事業1（略＝〔他1〕）その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施する。

1 音楽のまち・ひめじ

東京オリンピック・パラリンピックに向け、2020東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの一環として、姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進する。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第23回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	2.5.5(火・祝) 【1回】	文化センター 大ホール	アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行う。 出演＝メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部 他 計11団体
2	小曾根真トークイベント ボーダレスな音楽の愉しみ 〔公1〕	2.5.16(土) 【1回】	文化センター 小ホール	6/6(土)の本公演に先立ち、小曾根による音楽の魅力伝えるトークイベントを開催。 お話・演奏＝小曾根真
3	ブラス・エクシード・トウキョウ コンサート 〔公1〕	2.5.31(日) 【1回】	パルナソスホール	吹奏楽講習会をリニューアル。東京を中心に活動している若手のプロ吹奏楽団「ブラス・エクシード・トウキョウ」によるコンサート。前日には西播吹奏楽連盟に加盟している吹奏楽部を対象に楽器講習会を開催し、さらなる吹奏楽の普及・向上を図る。
4	小曾根真 featuring No Name Horses 〔公1〕	2.6.6(土) 【1回】	文化センター 大ホール	小曾根真率いる総勢 15 名のビッグ・バンド、「No Name Horses」の 15 周年記念全国ツアー姫路公演。メンバーはいずれも自身のバンドでリーダーを務める日本を代表するジャズ・ミュージシャン。20 歳の天才ギタリスト山岸竜之介をゲストに迎え、ロック・ファンをも圧倒する大迫力のサウンドをお届けする。 出演＝No Name Horses、山岸竜之介
5	こどもオペラ 音楽劇「3びきのこぶた」 〔公1〕	2.8.21(金) 【2回】	文化センター 小ホール	0歳から入場OK！親子で一緒に観て・聴いて・動いて楽しめるクラシック名曲コンサート。
6	オオサカ シオン ウインド オーケストラ コンサート (共催) 〔公1〕	2.9.26(土) 【1回】	文化センター 大ホール	国内3大吹奏楽団の一つであるオオサカ シオン ウインド オーケストラ(旧大阪市音楽団)による音楽・吹奏楽の振興を図るコンサート。
7	サイトウ・キネン・オーケストラ ブラス・アンサンブル 〔公1〕	3.2.20(土) 【1回】	文化センター 大ホール	小澤征爾総監督が絶大な信頼を寄せるサイトウ・キネン・オーケストラの金管、ティンパニ、打楽器セクションのプレイヤーたちで結成されたブラス・アンサンブルによるコンサート。
8	オーケストラの世界へようこそ 〔公1〕	3.3.28(日) 【1回】	文化センター 大ホール	事前にプロ奏者が中学生を対象に楽器講習会を実施、本番ではプロオーケストラと共演するスペシャルコンサート。吹奏楽の育成を図る。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
9	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	2.5.28(木) 2.9.24(木) 3.2.14(日) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサート。
10	パルナソス朝のハーモニー 〔公1〕	年間 【6回】	パルナソスホール	第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。 出演者は、「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図る。
11	パルナソスアフタヌーンコンサート 〔公1〕	5.9(土) 3.2.27(土) 【2回】	パルナソスホール	パルナソス朝のハーモニー事業のステップアップ事業として、若手プロ演奏家への舞台提供とともに、より身近に音楽に触れる機会を設ける。

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第23回 姫路パルナソス音楽コンクール 第23回 姫路パルナソス音楽コンクール受賞者演奏会 〔公1〕	5.16(土)予選 5.17(日)本選 【2回】 7.12(日) 【1回】	パルナソスホール パルナソスホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、姫路地域における音楽活動の支援を目的とするコンクール。 審査員長は当財団芸術監督の池辺晋一郎が務め、今年度より更なる音楽的レベルの向上と若手演奏家の活動支援の一助を目的に内容を変更し実施。 コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団メンバーによる演奏会も実施。
2	ピアノスクール第20回記念 上田晴子×ジャンミッシェル・キム ピアノデュオ	7.18(土) 【1回】	パルナソスホール	第20回を記念し、講師を務める上田晴子が、パリ・エコール・ノルマル音楽院で研鑽を積んだ若手ピアニストとの師弟共演によりピアノアンサンブルの魅力を贈る演奏会。
3	上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」 〔公2〕	7.19(日) ～7.22(水) 【4回】	パルナソスホール	講師は、上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授)。ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン。 技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。
4	室内楽演奏会 〔公1〕	8.22(土) 【1回】	パルナソスホール	姫路市ジュニア・オーケストラのアドバイザー三浦章宏(ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)、青木篤子(東京交響楽団首席ヴィオラ奏者)によるデュオコンサート。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
5	バロック in 姫路 〔公1〕	3.1.31(日) 【1回】	パルナソスホール	ホールの特性、音響の良さを活かし、ホールの所蔵楽器であるチェンバロなどの古楽器の普及も兼ねた演奏会。チェンバロ講座で講師を務める大塚直とバッハ演奏の第一人者鈴木秀美を招きオール・バッハプログラム。 出演＝鈴木秀美(チェロ)、若松夏美(ヴァイオリン)、大塚直哉(チェンバロ)

〔パルナソス楽器普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.5 オルガンシリーズ Vol.6 オルガンシリーズ Vol.7 〔公2〕	通 年 4.19(日) 10.17(土) 12.20(日) 【各1回】	パルナソスホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(3クラス)、1日体験)」「オルガン紹介イベント」「オルガンコンサート」等を実施。 講師＝長田真実(ホールオルガニスト)
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通 年	パルナソスホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(講師＝湯浅宣子)を実施。
3	はじめてのフルート教室	通 年	パルナソスホール	楽器を通して、音楽に触れる機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室。 村松フルート製作所の協力による。
4	アウトリーチ事業 〔公2〕	通 年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴くことにより、子供の情操教育の充実をめざし、感性を豊かに育むために実施し、地域文化の向上も図る。 「オーケストラメンバーによるワークショップ」 講師はプロのオーケストラメンバー(3校予定) 「ポジティブオルガンのワークショップ」 パルナソスホールのオルガンをより身近に感じられるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用。 講師はホールオルガニスト(4校予定)

[交響詩ひめじ普及事業] [公2]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第31回「交響詩ひめじ」合唱コンクール	3.2.7(日) 【1回】	パルナソス ホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 審査員=池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家) コンクールに先立ち、12月6日(日)には、池辺晋一郎による公開合唱ワークショップも開催。
2	「交響詩ひめじ」演奏会	3.3.7(日) 【1回】	パルナソス ホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とし、2月の合唱コンクール受賞団体と、交響樂團によるジョイントコンサート。前半はプロの交響樂團によりオーケストラの名曲に触れる機会の創出を図る。 トーク=池辺晋一郎 演奏=大阪交響樂團

[音楽のまち・ひめじプロジェクト]

[公2]

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、季刊プログラムの発行やホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする。

令和2年度は、イーグレひめじでの発達障害支援ワークショップや、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」(旧姫路ミュージック・ストリート)などを企画。

[ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局業務]

[公1]

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力の世界に向けて発信することを目的として開催。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催している。

2 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

[演劇、古典芸能、大衆芸能]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	松竹大歌舞伎 [公1]	2.4.21(火) 【1回】	文化センター 大ホール	全国公立文化施設協会統一企画「松竹大歌舞伎」西コース。 出演=片岡仁左衛門 他
2	絵本のじかんだよ! [公1]	2.6.7(日) 【1回】	キャスパホール	NHK E テレの子ども向け番組オフロスキー役でおなじみの小林顕作による絵本読み聞かせ公演。 出演=小林顕作

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
3	令和2年度 舞台技術講習会 〔公2〕	2.7.25(土) 7.26(日) 【1回/2日間】	キャスパホール	中学・高等学校演劇部を中心とした演劇に必要な初歩の技術を分かり易く学べるワークショップ。一般参加者も受講可。
4	第27回 キャスパ能 〔公1〕	2.8.23(日) 【1回】	キャスパホール	姫路能楽会と共催で会館オープン当初から毎年開催している解説付きの本格的な能楽公演。今回は「小鍛冶」を上演。
5	第48回 姫路落語会 〔公1〕	2.8.29(土) 【2回】	文化センター 小ホール	桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。出演=桂ざこば、桂南光、桂米團治 他
6	第29回 こころの祭 姫路 〔公2〕	2.11.11(水) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。実施協力者は6月に公募し決定。
7	第29回 キャスパ寄席 〔公1〕	2.11.21(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。演目は、会場の雰囲気により決定。
8	名画鑑賞会 〔公1〕	2.12.17(木) ～12.18(金) 【2回】	文化センター 大ホール	優秀映画鑑賞推進事業として、東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の邦画を上映。2日間で4作品を35ミリフィルムで上映。
9	りゅーとびあ発『源氏物語の女たち』 〔公1〕	3.1.14(木) 【1回】	キャスパホール	姫路市出身の笹部博司が脚本・演出の、りゅーとびあ発のリーディングと演劇の融合作品。出演は斉藤由貴、久本雅美、音無美紀子ほか女優1名+若手男優1名を予定。
10	2021文化交流 フェスティバル 〔公2〕	3.3.19(金) 【1回】	姫路キャッスル グランヴィリオホテル	文化人等の交流の場として開催。 第1部/姫路市芸術文化賞表彰式 第2部/文化交流パーティー
11	中高生による演劇公演 「星の王子さま」 〔公1〕	3.3.27(土) 3.28(日) 【3回】	キャスパホール	高校生自身が演出をはじめ演劇製作に係る多くの業務に携わり、プロの脚本・演出家と共に作り上げてきた「高校生による演劇公演」の後継となる演劇公演。 参加枠を一般公募の中高生とし、主体性をもって作り上げ公演する中で青少年の社会性を育成するとともに、地元演劇文化の発展に寄与する。
12	文化事業連絡会 〔他1〕	年間 【2回】	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画。
13	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行う。4月24日(金)には、友の会限定の四国こんびら歌舞伎大芝居鑑賞ツアーを実施。

3 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 [公2]

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊3, 800部

- ① 116号(夏号) 特集:赤穂の塩ー播磨の日本遺産ー(仮称)
- ② 117号(秋号) 特集:はりまの紅葉(仮称)
- ③ 118号(冬号) 特集:播磨の邸宅(仮称)
- ④ 119号(春号) 特集:室津道(仮称)

4 「文化情報姫路」の発行 [公2]

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月発行して市民に提供する。A4版12ページを月刊12, 000部。令和2年5月号から表紙デザインを一新する。

5 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公2]

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図る。

6 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出する。

7 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説等を実施し、市民文化の向上と姫路市のPRに努める。

開催日=4月3日(金) 開催場所=夢乃井(大盤解説はあいめっせホール)

8 第75回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の約240団体、約7, 000人の参加を得て23の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらおう文化の祭典。

開催日=11月1日(日)~11月22日(日)

開催場所=文化センター、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館、勤労市民会館

9 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行う。表彰式は、令和3年3月19日(金)に開催される文化交流フェスティバルで行う。

10 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施する。

(1) 企画展 [公3]

展覧会名	会期	内容
【春季特別展示】 時をかざった陶磁 — 中国文明の美	2.4.4(土) ～5.31(日) 49日間	高い技術水準で時代を超えて美しく輝きを放つ中国陶磁は、日本でも根強い人気がある。本展では、戦国時代の黒陶、後漢時代の灰釉陶、南朝時代越州窯の青磁、唐時代の三彩・緑釉、北宋・遼時代の白磁・青白磁・三彩、南宋・金時代の青磁・黒釉搔落、明時代の染付・法花など、作品約 80 点で中国陶磁史を通覧しその魅力を紹介する。
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 佐賀県の諸玩具	2.4.11(土) ～8.27(木) 118日間	神埼の尾崎人形、武雄の弓野人形、鹿島の能古見人形、唐津の曳山やこま、など約 80 点を展示。
【小企画展】 播磨地域の工芸品 -播磨の刳物師・山名秀 圭生誕 100 年-	2.6.6(土) ～7.12(日) 37日間	播磨を代表する刳物師の市川周道は小竹斎と名乗り一門を形成した。その最後の門下生であった山名秀圭は惜しくも昨年没したが、99 歳の最後まで制作に勤しんだ。その功績をたどりつつ播磨の木工芸を通覧。
【常設展示】 清水公照すみ・いろ・つ ち	2.6.6(土) ～10.18(日) 135日間	平成 11 年に没した当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらを 2 か月毎に入れ替えて紹介。
【夏季特別展示】 (調整中) フィギュア展	2.7.18(土) ～8.30(日) 38日間	人や動物などを精密に縮小した模型はフィギュアとして親しまれている。本展は夏休みの小中学生や親子を対象に、漫画やアニメのキャラクターを中心にフィギュアを展示し、その魅力を紹介する。(キャラクターについては調整中)
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 福島県の諸玩具	2.8.29(土) ～12.17(木) 94日間	久之浜張り子、土湯こけし、三春人形、赤べこ、中湯川人形、会津地方の唐人形など約 80 点を展示。
【特別展示】 2020 年 播磨工芸美術 展(併設公募展)	2.9.5(土) ～10.18(日) 38日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作約 30 点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示する公募展(旧:播磨・工芸ビエンナーレ)を開催することで新人工芸作家の育成・発掘を図る。
【秋季特別展示】 漆うるわし — 書写塗・竹田塗・丹 波漆 —兵庫県下の漆	2.10.24(土) ～12.24(木) 52日間	木製工芸品の補強と装飾に欠かせない漆は、時を経て技法が多様化し各地で独自の発展を遂げた。本展では漆と漆器をテーマに、書写山圓教寺(姫路市)に伝わる書写塗や、竹田城跡(朝来市和田山町)の麓で作られていた竹田塗、丹波(兵庫県北東部から京都府北部)の名を冠して生産されている丹波漆など兵庫県を中心とした「うるわしい漆」について紹介する。
【企画展示】 はりこ絵付けコンクール 展	2.12.5(土) ～12.24(木) 17日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。募集作品を展示。

展覧会名	会期	内容
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 和歌山県の諸玩具	2.12.19(土) ～3.4.8(木) 85日間	御坊の張り子や練り物、和歌山の米搗車や瓦猿、熊野速玉大社のなぎ人形など約 80 点を展示。
【冬季特別展示】 今森光彦－自然と暮らす 切り紙の世界	3.1.6(水) ～4.4(日) 76日間	今森光彦(いまもり・みつひこ/1954 年大津市生まれ)は、熱帯雨林や砂漠などの世界各地で、生物の生態を追う著名な写真家であり、同時に「切り紙」の世界でも新たな境地を切り開いている。また「里山」をテーマに、ジャンルの垣根を越えて人と自然の関係を様々な角度から追いつけている。本展は、自然に寄り添いながら生活続ける今森氏の暮らしの紹介と共に、精選された切り紙の最新作品および写真作品を展覧する。
私のいっぴんギャラリー	通 年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示。

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施する。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月2日(土)～5月6日(水・祝)の間
- ② 開館25周年記念イベント 7月5日(日)
- ③ 秋季の観光促進イベント 10月下旬
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月中旬

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施する。

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

実演=姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

実演日=土、日曜日、祝日(一部不定期)

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行う。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流の推進により多文化共生社会の実現を図るため、地域住民の国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入態勢の整備及び在住外国人の交流などの事業を実施する。

1 地域住民の国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供する。年3回実施予定。

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を公立の小中高等学校又は公民館等へ派遣し、スライド等を用いた講演を通して、市民の国際理解を深める機会を提供する。年24回実施予定。

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、両市の市民交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② 昌原市姉妹都市提携20周年記念訪問団派遣
- ③ シャルルロア市訪問団受入

(2) 青少年交流事業 [公5]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成する。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	7月下旬～8月上旬 2週間
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	6	7月下旬 1週間
昌原市	中学生	10	7月下旬 1週間

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	4	6月中旬～6月下旬 2週間
昌原市	中学生	10	12月下旬 1週間

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語で提供し、暮らしやすい環境づくりを行う。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA！ひめじ」発行	年4回	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国)
VIVAの集い	年1回	「VIVA！ひめじ」の編集ボランティアと翻訳ボランティア の意見交換、交流会の実施。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語による生活情報等を提供する。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書により事業実施状況を報告する。

種類	発行回数及び部数	内容
機関紙「Hello！Himeji」	年1回 1,500部	活動報告及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回 各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回 1,100部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、その他のイベント通知をダイレクトメールにより送付する。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

行事の告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供する。

4 外国人の受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行う。初級7クラス、初中級1クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月／9～11月／12～3月)各10回開催予定。

② 日本語ひろば

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行う。

(2) 市民公開講座の開催

市民に、在住外国人の母国語の学習機会を提供し、市民の異文化理解を図る。姫路獨協大学との共催事業。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法について基礎講座を開催する。

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催する。年2回予定。

(5) 多言語生活相談

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。

外国人相談センター

開催場所	曜日	時間	内容
市民相談センター (市役所1階)	平日	9:00～17:00	日本語、英語、フランス語
	月曜日	13:00～17:00	ベトナム語
	火曜日	13:00～16:00	ベトナム語、中国語、ポルトガル語、スペイン語
	水曜日	13:00～16:00	ベトナム語
	木曜日	13:00～16:00	ベトナム語
	金曜日	13:00～17:00	ベトナム語
城東町総合センター	火曜日	13:00～17:00	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13:00～17:00	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13:00～17:00	ベトナム語

(6) 地域交流事業

地域で暮らす在住外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりのための事業を実施、また同様の事業を実施する団体に助成する。姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可する。

(7) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアポリジニアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図る。

開催日=10月25日(日) 会場=大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人の日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供する。

開催日=2月21日(日) 会場=イーグレひめじ

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

事業名	対象者	内容
ボランティアの登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付する。
ボランティアによる事業推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業について以下のとおり行う。 ①日本語学習に関しボランティアが学習者を支援する。また、学習者を対象にイベントを実施する。 ②情報誌作成に関しボランティアが企画・取材・翻訳・編集に携わる。 ※ボランティアの参画事業は、海外姉妹都市青少年派遣事業に関し派遣時に研修アシスタント、青少年受入時に財団プログラムに参画する。

Ⅲ 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を目指す。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施する。また、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することにつなげる。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理する。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の経費節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、還付事務)
アンテナショップとして、適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。

3 パルナソスホールの管理運営

- (1) 貸館事業(使用許可、使用料徴収事務、減免、減免等事務)
適正、迅速な事務処理を行い、広報活動により使用率のアップを図る。
- (2) 管理運営経費の節減、光熱水費等の管理運営経費の節減に努める。
- (3) 広報活動の推進 ウェブサイトの更新、施設パンフレットの送付、顧客へのダイレクトメールの送付を行う。